

新型コロナウイルス感染症の感染防止に係る保健管理や対応について

令和2年5月21日 光井小体育部

「学校における新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン(光市教育委員会)」及び「新型コロナウイルス感染症対策マニュアル(光井小学校)」に沿って対応を行う。実際の動きについては、以下のとおりとする。

| | 児童 | 教員 | その他 |
|------|---|---|--|
| 登校前 | <ul style="list-style-type: none"> 各家庭で、①検温、②体調不良の有無の確認→チェック表(月初めに連絡帳に貼る)に記入。 マスクとハンカチの確認。 発熱、または体調不良「あり」の場合、欠席(出席停止)する。 欠席の連絡は電話により行い、連絡帳はことづけない(兄弟でも)。 | <ul style="list-style-type: none"> ←体調不良の有無については、示された6項目による。 ①頭痛 ②だるさ・寒気 ③せき ④のどの痛み ⑤息苦しさ ⑥腹痛・下痢・吐き気 ←早退の基準もこれに準ずる。 | <p>◎児童への指導について</p> <ul style="list-style-type: none"> 1日の流れと約束事 「3密」を避ける 「むんむん、ぎゅうぎゅう、がやがや」 手あらいの徹底 「あわあわ手あらいのうた」の活用 アルボナースを大切に、正しく使う アルボナースは現在希少であること 咳エチケットの徹底 マスク着用を基本とする ティッシュ・ハンカチで鼻や口を覆う 上着の内側や袖(そで)で覆う 家庭から、除菌シートやマイ箸を持ってきてよい 自分のものとして使う(人にあげない) ハンカチとマスクの予備 ハンカチは複数枚あるとよい マスクについても予備をランドセルに常備しておくことを家庭に依頼 自分の心や体への意識を高める 気になることはすぐに担任に伝える 《信頼関係づくり》 心情面での指導、心のケア 差別や偏見が生まれないよう 発達段階に応じた指導 海外からの転入生への配慮 ※生徒指導・教育相談との連携 |
| 登校後 | <ul style="list-style-type: none"> ★アルボナース消毒(教室に入る前) 連絡帳を記入後、担任に出す。 → 個別にコミュニケーションをとりながら自分の体調を伝える(健康観察) 検温やチェック表を忘れた児童は、担任に伝え、検温する。 | <ul style="list-style-type: none"> マスクとハンカチを持ってきているかの確認をする。 連絡帳のチェック表を確認後、確認印を押す。 →1人ひとり個別に健康観察を行い、健康観察簿に記入 (学年の体温計で)検温後、チェック表に記入する。 ※全員の連絡帳が提出されたかの確認を必ず行う。 | |
| 朝の会 | <ul style="list-style-type: none"> 全体での健康観察は行わない。 | <ul style="list-style-type: none"> 欠席児童の欠席理由については、言わない、触れない。(不要な憶測やいじめにつながることを防ぐ) 健康観察板は、裏返して所定の位置にさげる。 | |
| 授業中 | <ul style="list-style-type: none"> となりの人と距離をとって活動する。 体調不良を感じたら、すぐに申し出る。 以下の活動後には、手洗いを行う。 - 体育の後 - 図書室を使った後 - 共有の教材(タブレットなど)を使った後 | <ul style="list-style-type: none"> 机の間隔をできる限りとる。(可能であれば1m以上) グループ学習は停止し、座席はスクール形式。 体調不良の訴えがあった場合は、 ①体調の確認 ②保健室に内線 ③保健室での検温・対応 ※保健室での感染拡大の防止 ④早退の場合、家庭連絡 「発熱はすぐに早退、発熱がなくとも、だるいなど体調不良の症状が出た場合は早退」 換気を行う…1時間に1回5～10分(2方向の窓)欄間と廊下の窓は常に開放 エアコン使用時をのぞき、入口も開放 授業形態、授業内容を考慮し実施する。必要に応じて行事などの見直しを行う。 | |
| 休み時間 | <ul style="list-style-type: none"> 手洗いを行う。 - トイレの後 - 外遊びの後 ☆「3密」を理解し、避ける行動を身につける 「3密」を避けた遊びを考えて行う。 近距離での会話、大声での発声を控える。 マスクは原則着用。 ※息苦しさ、熱中症の危険を感じたときは外して自分で保管する。 壁や手すりにむやみに触らない。 洋式トイレは、フタをしめてから流す。 | <ul style="list-style-type: none"> 手洗いの確認をする。 換気を行う。 「3密」の回避の指導を、発達段階に応じて、継続的に行う。 状況に応じて、遊びの制限について検討。 マスクについて ■ 忘れたときは、学校のマスクを貸し、後日未使用のマスクを返すこととする。 ■ 汚れたマスクは新しいものと取りかえることもあるが、外したマスクは、学校のごみ箱には捨てずに持ち帰る。 | <p>◎階段手すりや廊下、手洗い場蛇口の消毒について</p> <ul style="list-style-type: none"> 1日3回(朝・午前・午後) 校長が巡視しながら行う。 1日1回以上 各階の担当により行う。 <p>◎多くの児童が手を触れる場所の消毒について</p> <p>教室ドア、スイッチ、トイレのドア・鍵ホルダー・レバー・便座・フタ・蛇口など</p> <ul style="list-style-type: none"> 1日1回以上 各階の担当により行う。 <p>◎体育館トイレ・入口の消毒について</p> <ul style="list-style-type: none"> 1日1回以上 体育主任、養護教諭により行う。 <p>消毒液：次亜塩素酸ナトリウム希釈液(500ppm)</p> |
| 給食 | <ul style="list-style-type: none"> 手洗い→★アルボナース消毒 手洗い→ハンカチで拭く→消毒1プッシュ ハンカチを机の上に置く。 「いただきます」の後マスクを外し、ナフキン袋に入れる。 会話はしない。 ミラノール洗口は、キャップで行わず、自分のコップに洗口液を移して行う。となりの人と距離をとり、低い位置から吐き出す。 | <ul style="list-style-type: none"> 手洗い、アルボナース消毒の確認をする。 当番の健康観察を行い、給食当番健康観察表に記入。 給食庫・下駄箱前が混雑しないよう、引率者で調整。 配膳や片付け時も導線などの工夫をする。 座席はスクール形式。 ハンカチ、マスクの扱いについて確認する。 会話はせずに食べることの指導。 歯みがき、ミラノール洗口の確認をする。 | |
| 昼休み | <ul style="list-style-type: none"> (休み時間に準ずる) | <ul style="list-style-type: none"> 児童の実態や課題に応じて、定期的に見直しを行う。学校の取組は家庭とも共有する。 | <ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて学校医や学校薬剤師などから専門的な知見に基づく助言を求め、学校保健体制の整備を図る。 |
| 掃除 | <ul style="list-style-type: none"> 掃除の後には手洗いを行う。 | | |

